



いせ志穂

盛岡市議会議員 44才

【提案します・3つの改革】

- **社会保障改革**・年金、医療、失業等の保険制度から、最低所得保障制度（税金を財源）へ
- **税制改革**・・・総合累進課税の徹底で財源確保
- **地方自治改革**・課税権、決定権を自治体に

【実現したい・6つの目標】

- **景気対策・雇用**
就業支援、起業支援制度
同一労働同一賃金の実施と指導強化
地域通貨の発行で地域循環型新金融経済システムを
- **子ども**
児童虐待、いじめ対策にチャイルドライン。子育て支援
- **生活**
緩和ケア（ホスピス）医療の拡充
介護施設を中学校区ごとに
六ヶ所村核燃再処理工場は操業中止に
- **道路**
自転車走行レーンの確保、通学路・歩道の整備を
- **自治・まちづくり**
行政の個人責任の明確化
市民からの提案に調査研究費を
行政・市議会の情報公開。計画、立案からの住民参加
天下りの禁止。外部監査制度。
- **国際紛争解決に、武力を行使しない**

事務所 盛岡市青山3-29-4 〒020-0133

自宅 盛岡市前九年1-9-26 〒020-0127

<http://ise.nahan.jp/> E-mail: ise@nahan.jp

「市長の退職金、一期四年で四千万円は高すぎる」「ホスピスをつくる」と訴えた前回の選挙からはや四年。退職金は半額以下になり、待望のホスピス施設も開業いたしました。斎藤純さんの市長選でボランティアをしてくださった方曰く「あれだけたくさんの、それもそれぞれ異なった立場の人たちが、盛岡のために、自分にできる限りのことを行った、そのことが政治を変えたのだと思います。」

企業・大労組・宗教団体・業界団体の支援がないボランティア選挙は、上下関係や「取引き」や「根回し」はありません。だから市民のために、恐れず、本当のことを言い、行動できます。情報の公開と政策の合意形成が進みます。政治を変えていく力はここにあります。選挙の前後は政治を変える大きなチャンス。利権にしがみつく人たちが、官僚たちのための政治を終わらせ、所得の高低や個性などにかかわらず、だれもが「生きられる」社会と政治をつくりだすために市民が自主的自発的に参加していくボランティア選挙を大きな力にしていきたく思います。ボランティアへの参加を、そして応援を心からお願いいたします。

現場の声を活かした政治 市民のために、責任をとる政治を 改革に向かう市民の力を

企業・大労組・宗教団体・業界団体の支援がないボランティア選挙は、上下関係や「取引き」や「根回し」はありません。だから市民のために、恐れず、本当のことを言い、行動できます。情報の公開と政策の合意形成が進みます。政治を変えていく力はここにあります。選挙の前後は政治を変える大きなチャンス。利権にしがみつく人たちが、官僚たちのための政治を終わらせ、所得の高低や個性などにかかわらず、だれもが「生きられる」社会と政治をつくりだすために市民が自主的自発的に参加していくボランティア選挙を大きな力にしていきたく思います。ボランティアへの参加を、そして応援を心からお願いいたします。

伊勢志穂の あゆみ

市民参加で改革を

相談のみならず、意見、要望、提案などお寄せください。（匿名でもかまいません）
かなうようにがんばります。

◆一九六二年盛岡市生まれ（44才）◆厨川小、厨川中、盛岡三高、岩大教育学部特美（中退）岩手生協でパート後、岩手アイワに勤務◆99年盛岡市議当選、現在二期目◆02年岩手にホスピス設置を願う会結成に参加、現在事務局員◆03年市議会会派、議会改革フォーラム結成◆03年盛岡市長選に

斎藤純さん擁立◆06年城西中PTA会長◆全国の無党派議員と連携し、新しい市民の党をめざす◆05年たっそ拓也氏、06年ことつ祐一氏（神奈川補選）など全国を走り回り応援◆椎間板ヘルニア克服のために乗りはじめた自転車にはまりつつある◆ストレス解消法は入浴中の読書と菓子作り◆B型

情報公開

◆議員の政務調査費領収書添付義務を実現（02年）◆ホームページで議会の審議状況を公開。議案、請願への賛否情報を含め、議会も情報公開をすべきと主張。インターネット規制を断念させる（01年）◆住基ネットに反対。重大事態の際は切断すると市から確約をとる（02年）

くらし

◆介護保険料の減免一部実現◆児童を犯罪から守るよう公園の剪定を要望、実現（01年）◆チャイルドライン設置のため活動中◆イラクから自衛隊撤退を求め活動（04年）◆磐井病院・孝仁病院にホスピス設置、ホスピスボランティア講座開催（06年）◆六ヶ所村核燃再処理工場操業停止を求める（06年）◆教育の機会は均等に◆同一労働には同一賃金を

街づくり

◆肴町プール存続運動に協力（00年）◆八幡番屋の望楼の保存に協力（02年）◆ゾーンバス・青山新駅市民アンケート調査、四千件。（02年）◆青山町覆練兵場（05年）岩手川工場跡地（06年）保存に協力◆市民・行政協働で青山新駅駅舎建設を企画（04年から）市民によるレンガタイル貼りを実現（06年）◆車中心の道路建設を改め、歩行者・自転車交通の充実を要望、盛岡自転車会議に参加（06年）

行財政改革

◆議員の政務調査費値上げに反対し、実現（01年）◆マリオスへの補助金約六億円を中止させる（01年）◆築川ダムの中止を求め活動、利水事業縮小達成◆市職員の給与引き下げ条例に賛成、可決（02年）◆市長の退職金、大幅減額実現（03年）◆岩手競馬への融資反対、個人責任も追及

お手伝いください

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に見せてください。ポスティングなどお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いします。



カンパのお願い

議員歳費の多くを活動につぎ込んできましたが、やるべき事が増える一方、議員歳費を減額。それにともない赤字が続いています。このご時世大変心苦しいお願いですが、カンパもよろしくお願いします。
郵便振替口座 02230-8-52327 伊勢志穂



格差拡大は政治が原因

本当にお金がないのか

「去年より多額の税金が請求されている。間違いではないか」

何人かの高齢者の方から悲痛な声がよせられました。これは、昨年から老年者控除が廃止されたからです。本当に庶民増税が必要なのでしょうか。

では全体の7%。一方、高額所得者(所得二千万円以上)の人数は、全体のたった3%なのに所得では25%を占めています。

格差を生み出す税制

これほどまで開いてしまったのは、右下の図のように一九八四年から高額所得者を優遇する税制改革が続けられているからです。株式売買などの譲渡税も大幅な減税(26%↓10%)をしています。

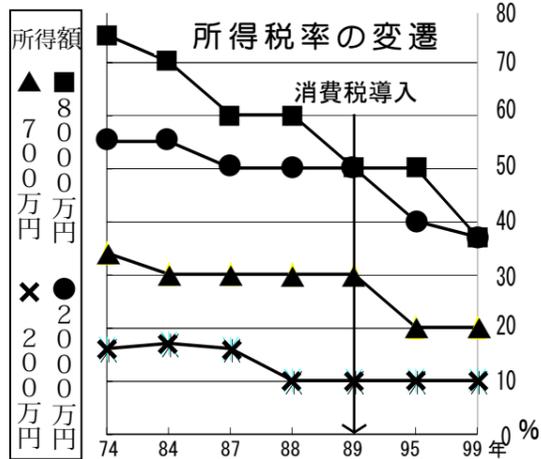
おもな国民負担

- '04年・配偶者特別控除廃止
- '05年・老年者控除廃止・公的年金控除の縮小・消費税、事業所減免額の引き上げ
- '06年・定率減税縮小・前年の所得が125万円以下の高齢者の住民税を'08年まで段階的に引上げ
- '07年・定率減税の廃止・同族会社主宰者の役員報酬を損金不算入へ・フリーター住民税課税強化

累進課税の徹底と行政改革の断行で

総合累進課税の徹底で約十八兆円の増収、事業・経費の見直し(特殊法人を含む)で経費を30%削減すれば、財政再建できます。

- ①株取引などに適用されている分離課税を廃止し、所得税は総合累進課税とする。
- ②所得二千万円以上には課税段階を増やし税率を引き上げる。
- ③官僚の天下り禁止、人件費削減、事業の見直し、特殊法人への補助金全廃などを行なう



お金持ちと官僚のためだけの政治を変えよう

所得がない、障がいがある、高齢である、病気であるなどの理由で生きられない社会であってはいけないと思います。

本当に困った時、それでもだれでも、暮らしていける、税金による新しい社会保障やしくみが必要で、

また、自分たちの街のことは自分たちで決められる地方自治改革も必要です。

ボランティアにご協力を

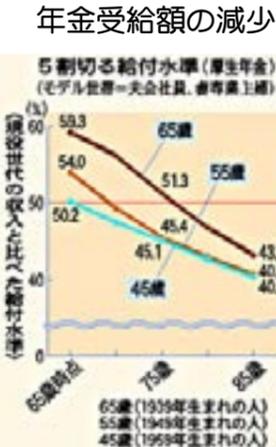
与党や『ひもつき』議員や首長では、この改革はなしとげられません。私は、ボランティア選挙を広げ、国民のための政治のスタートに向け、全力でがんばります。就労、子育て、教育、介護、医療、生活など現場からの声をぜひ私たちにお寄せください。

またボランティアやご支援もよろしく願います。

格差是正 社会保障制度の 創設をめざして

縮められる社会保障

増える負担・縮む保障



控除の廃止で国民健康保険や介護保険料も引き上げ。二〇〇八年からは、七十〜七十四歳の医療費自己負担額が増やされ、七十五歳以上の高齢者が個人加入する医療保険が新設されます。(原則として加入者全員が保険料を支払う)リハビリや介護機器の貸出は制限され、病院の療養ベッドは現在

の3分の2まで減らされる計画。年金の受給額も減らされ『最低限度の生活』を保障する生活保護も、保護費の基準額が引き下げられようとしています。障がい者や関係者も今年度から実施された障害者自立支援法によって、危機にさらされています。今まで行われていたタイムケア給付がなくなる、福祉サービスの一部が自己負担になり作業所に来られなくなるなどすでに弊害が生まれています。

競馬への融資反対

借金の責任は当事者に

岩手県・盛岡市・奥州市は岩手競馬への三三〇億円の融資を決定しました。盛岡市民一人あたり三万五千元の負担です。私はこれに大反対です。その理由は、①貸した税金が戻ってくると思えない ②経営者の責任がなら問われていない ③貸し手としての銀行の責任も不問にされている ④「年度内でも赤字なら廃止」では存続案にすらなっておらず、雇用対策にもなっていない、からです。

退職金をもらって『ドロン』を許すな

91年以降00年まで売上は下がっているのに役員報酬は高額維持。また04年から06年まで勤めた副管理者の年酬は千七百一十万円、「経営不振の責任を取る」と

06年の半ばで退職しましたが二年たらずで七百六十三万円の退職金まで持つて行きました。非常識すぎます。責任度合いに応じた返還をお願いすべきです。

行政の経営責任について、ルール化を

夕張市をはじめとして今まで行政の経営責任はまったくルーズなまま。この怠慢が財政赤字の一因です。今回の競馬組合問題を契機に、行政とその他の外郭団体の経営責任はさかのぼって当時の責任者に追及できるというルールをつくるべきです。

競馬事業の存廃は住民投票で決定を

今、一番必要なのは、経営状況を市民に説明すること、情報を公開し責任を明らかにすることです。その上で、競馬事業の存廃は住民投票で決めるべきだと私は思います。



盛岡市職員賃金格差3倍も

一般行政職正規職員の平均給与月額

434,545 円

事務嘱託等非常勤職員は最高額

146,600 円

これでいいのでしょうか？